

すべての人にありがとう

会長 藤井俊則

今回の民泊は「他の地区と競争はしない“ふれあいの里・米川“らしく」をモットーに、全て班長さんにお任せで終始。

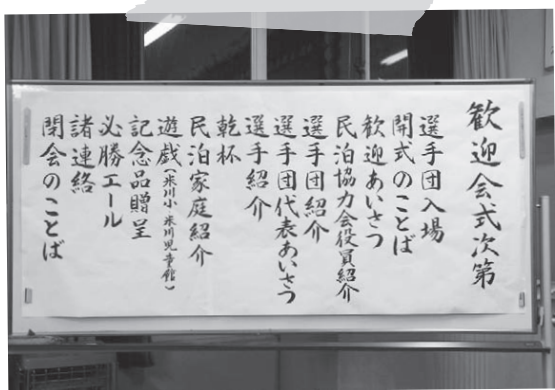
総務班長には全体の目配せを、美化班長にはプランターの管理を、歓送迎班長は動員手配から司会まで、宿泊班長には家庭との連絡調整に手を煩わせました。調理班は、班長のもと、心を込めて、3泊4日の食事をご用意いただきました。

一々のご紹介はかないませんが、あらゆる分野で、米川地域の皆様に知恵と汗でご協力をいただきました。公民館の3人にも本当に良く支えていただきました。「ふれあいの里・米川」の底力を見た思いがいたします。

愛媛県チームにも満足していただけたものと思っております。地元に溶け込もうとされた歓送迎会での姿、バスケ教室での嬉々とした子供たちに民泊の良さを感じました。惜しむらくは、民泊家庭での団欒時間が十分取れなかったことでしょうか。

民泊家庭のご協力には感謝あるのみ。

「全ての人にありがとう」の米川民泊でした。





民泊の思い出 調理班 手嶋康代

「ねえ、75℃で何分じゃったかいねえ?」「みそを入れるのは、まだ早いよね。」

夜も明けやらぬ米川公民館の調理室から聞こえるのは米川民泊協力会調理班の元気なおばちゃんたちの声。

「おはようございま〜す。」と少し眠そうな顔で入ってきて、配膳している私たちを手伝ってくれた選手たち。手作りのマットや箸袋に歓声をあげ、「おいしかったで〜す。」と大盛りのご飯も完食。持参してきているとは知らずに出したポンジュースも喜んでくれ、「愛媛ではポンジュースは水道の蛇口から出るんですよ。」と大まじめに言う選手に大笑い。

そんな元気な選手たちともお別れ。「あっという間じゃったね。」「忙しかったけど充実しちゃったね。」とおばちゃんたちは、寂しさの中に達成感も。

後日見た選手のブログに“ご飯作ってくれてありがとう。メッチャおいしかったです。”とあり、思わずガッツポーズ。

民泊の思い出

宿泊班長 安永槌男

米川民泊は10月1日から3泊の民泊です。愛媛県成年女子バスケットボールの若い美女チームです。体育館で練習後、米川に到着。「のんびり村・米川」の人に児童館も加わり公民館の前庭で出迎え。民泊家庭と初顔合わせでは、双方緊張の一瞬でしたが、自己紹介が済むとすぐに笑顔が出はじめ、一安心。四国から車2台で来松お疲れ様でした。歓迎会は、地区の方、児童館、小学生そして民泊家庭の総勢120もの人が集まった大歓迎会でした。

10月2日、試合当日、愛媛県チームの試合です。相手は優勝した愛知県チーム。米川民泊協力会大応援団の熱い応援でしたが熱戦の末、惜しくも敗れました。その夜の送別会と民泊ご苦労さん会は、監督・コーチも出席され、大盛会。親睦と感動の会でした。

10月3日は、米川小学校の体育館で小学生とバスケ交流会。お姉さん達との交流は、思い出となったものと思います。ありがとうございました。



民泊を引き受けて

民泊家庭 来栖光雄

山口国体の話題が日増しに高くなる中、地元下松市でも俄かに“民泊”が急浮上し、当米川地区も引受けとのこと、しかも、あろうことか静かなること下松一の我がオンボロ家に民泊の打診、妻と久しぶりの真剣会話の末、引受けと決定。以後は、民泊関連の打合せ等、直近まで不安の毎日でした。

9月中旬、引受けは、愛媛県女子チームと知らされ、残り2週間、連日経験したことのない整理・整頓・清掃・花の世話…忘れられないのは風呂場天井の掃除。滴る水が薄くなった頭を直撃し、苦笑しながらの作業。

さて、10月1日、公民館での引受け選手と対面。そして初日の宿泊を無事に終え、安堵しました。翌日は、試合会場へ。残念ながら、1試合で終わってしまいましたが、3泊を通して何気ない会話と仕草から彼女達のスポーツマンとしての厳しさや優しさを感じ取りました。

別れの朝は、お互い胸中穏やかならず。公民館を出発する車から手を振る選手たちの顔が今も脳裏に残っています。



山口国体を終えて、1番に思い出すことは民泊で大変お世話になった米川の皆さんのことです。

私達は民泊させてもらう場所のことを、山でダムとダムに挟まれてるような場所とだけ聞いていました。楽しい気持ちもありましたが、初めて民泊をする選手がほとんどで、米川に行く道中は不安と緊張がチームに浸透していました。米川に着いて、私達は予想をはるかに上回る盛大な歓迎を受けました。本当に感動しました。

試合の組み合わせが決まった時から、初戦から厳しい戦いになると考えていた私達。米川に行くまでは正直、勝つことに執着していませんでした。ですが、米川の皆さんに心こもった歓迎会をしてもらい、食事の事も含め、ものすごく前から準備をしてくださったことを知りました。「負けられない！1試合でも多く、皆さんに私達の試合を観てもらいたい！応援してもらいたい！勝つぞ！！」と、闘争魂に火がつけました。

結果、試合は負けてしまいましたが、米川の皆さんの応援がものすごく力となり励みになりました。

翌日、恩返しという意味でも地元の小学生とバスケットボールをして短い時間ではありましたが交流させていただきました。喜んでもらうはずが私達の方がはしゃいでいたかもしれません。本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

米川の皆さんへ心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。
山口国体は私にとって、とても心あたたま思い出となりました。

愛媛県バスケットボール成年女子

川井 梢

